

平成20(2008)年春季研究発表会プログラム

期 日 平成 20年 4 月 24日 (木)

会 場 独立行政法人産業技術総合研究所臨海副都心センター
別館 バイオ・IT融合研究棟11F (東京都江東区青梅2-42)

基調講演

道路交通騒音の予測と対策の課題	三宅龍雄 ((株)総合技術コンサルタント)
次世代における環境騒音政策	未岡伸一 (東京都環境科学研究所)
ラベリングの現状の概要	高津 熟 ((社)産業環境管理協会)
不思議音の現状と課題 (発表時間は各セッションの冒頭)	中澤真司 (鉄建建設(株))

参加費 参加費、論文集の頒布価格は次の通りです。

	参加費	論文集頒布価格
正会員・学生会員・団体会員・賛助会員	1,500円	2,500円
会 員 外	2,500円	3,500円

懇親会 平成20年4月24日 (木) 18:00~20:00

会場：日本科学未来館7階展望レストラン「バサラ」

会費：6,000円 (懇親会当日は満席になる可能性があります。ご出席ご希望の方はお早めに

工学会事務局までご予約下さい。会費は当日正午までに総合受付に納入して下さい。)

**実行
委員会**

委員長	堀江裕一	神奈川県環境科学センター		
副委員長	北川 保	(株)ゼット音響設計事務所	中澤真司	鉄建建設(株)
"	高津 熟	(社)産業環境管理協会		
委員	石井 貢	神奈川県環境科学センター	今泉博之	(独)産業技術総合研究所
"	落合博明	(財)小林理学研究所	高橋保盛	(独)産業技術総合研究所
"	瀧浪弘章	リオン(株)	竹中雄一	(株)ゼット音響設計事務所
"	田矢晃一	(財)小林理学研究所	松本泰尚	埼玉大学
"	峯村敦雄	鹿島建設(株)	山本耕三	東洋建設(株)
"	綿谷重規	(株)フジタ		

発表時間 1.発表時間は、質問・討論を含めて1件18分以内とします。

など 講演時間は15分、時間厳守願います。

2.発表者氏名の内,○印は講演者,◎印は研究奨励賞受賞対象者,△印は会員外です。

3.座長は都合によって変更されることがあります。

道路交通騒音

午前 10:00 ~ 12:00

座長：松井利仁 福島昭則

1-1-1 (基調講演) 道路交通騒音の予測と対策の課題(40分)

三宅龍雄(総合技術コンサルタント)

1-1-2 高層集合住宅に対する道路交通騒音予測

○北川 保, 林 貴史(ゼット音響), 加藤裕一(島根大学)

1-1-3 トンネル坑口周辺部における周波数別騒音予測モデルの開発

◎田鎖順太, 松井利仁, 内山巖雄(京都大学工学研究科), 一木智之, 福島昭則(ニューズ環境設計)

1-1-4 道路交通騒音が付加されることによる音環境の変化
— 〈音源×レベル〉時間構成マトリックスを用いた予測—

◎古川哲己, 松井利仁, 内山巖雄(京都大学工学研究科), 平松幸三(京都大学ASAFAS)

1-1-5 自動車走行騒音のパワースペクトルとそのモデル化

○福島昭則, 福島徹彦(ニューズ環境設計), 田近輝俊, 佐藤大(環境技術), 岩瀬昭雄(新潟大)

環境騒音振動行政（1）

午後 13:30 ～ 15:10

座長：堀江裕一 内田英夫

1-2-1 （基調講演）次世代における環境騒音政策(40分)

末岡伸一(東京都環境科学研究所)

1-2-2 （招待講演）騒音行政の課題と今後の展望

山下雄二(環境省大気生活環境室)

1-2-3 厚木基地の航空機騒音におけるWECPNLとエネルギーベースの評価指標との関係

脇長真文(大和市基地対策課)

1-2-4 環境騒音調査に関する考察 ―千葉県事例について―

○松島 貢, △石井佳世子, △立成隆秀, △湯浅公夫, △久能幸二(千葉県環境保全部)

環境騒音振動行政 (2)

午後 15:20 ~ 17:20

座長：石井貢 高木公明

1-2-5 (招待講演) 自動車騒音常時監視の現状と展望

津田剛彦(環境省自動車環境対策課)

1-2-6 松戸市における道路交通振動の苦情実態について

○桑原 厚(松戸市環境保全課), 高木公明(松戸市環境保全課)

1-2-7 新幹線走行に伴うトンネル周辺の住宅における低周波音苦情の事例

菊地英男(宮城県保健環境センター)

1-2-8 名古屋市域における新幹線鉄道騒音振動の変遷と対策

○樋田昌良, 古田修一(名古屋市環科研)

1-2-9 新幹線鉄道騒音の暴露反応関係について

○横島潤紀(神奈川県環境科学セ), 森原崇(石川高専), 太田篤史, 田村明弘(横浜国大)

1-2-10 在来鉄道騒音のバラツキと状況把握調査法の検討

内田英夫(長野県環境保全研究所)

ラベリング

午前 10:00 ~ 12:00

座長：落合博明 国松 直

2-1-1 (基調講演) ラベリングの現状の概要(20分)

高津 熟(産業環境管理協会)

2-1-2 低騒音型・低振動型建設機械の測定方法

△金澤哲也(国土交通省), ○佐野昌伴(施工総研)

2-1-3 給排水設備騒音の測定法－管路系実験室における検討結果－

濱田幸雄(日大・工), ○河原塚透, 平松友孝(大成建設技研), 赤尾伸一(三井住友建設技研),
白木秀児(新菱冷熱工業), 藤澤康仁(大林技研), 二村元之(INAX), 下西知行

2-1-4 IT機器の騒音ラベリング - ベルとデシベル

君塚郁夫(日本アイ・ビー・エム)

2-1-5 手腕振動障害軽減のための手持振動工具のラベリングに関する国内外の動向

○前田節雄(安衛研), △柴田延幸(安衛研)

2-1-6 国際規格に規定する聴力保護具の減音量推定方法

瀧浪弘章 (リオン)

不思議音 (1)

午後 13: 30 ~ 14:50

座長：峯村敦雄 山内 崇

2-2-1 (基調講演)不思議音の現状と課題(40分)

○中澤真司(鉄建建設建設技術総合センター), 安岡博人(ベターリビング), 峯村敦雄(鹿島建設技研),
山内 崇(戸田建設技研)

2-2-2 パネル式外壁材の熱変形に基づく間欠的衝撃音の発生と改善

吉岡 清(佐藤工業技研)

2-2-3 最近の不思議音測定事例について

○近藤誠一, 大脇雅直(熊谷組技研)

不思議音 (2) ワークショップ

午後 15:20 ~ 17:10

座長：中澤真司 峯村敦雄

2-2-4 (話題提供) 不思議音診断表の使い方と事例紹介(20分)

山内 崇(戸田建設技研)

討論(80分)

まとめ(10分)